

あさざいだより

令和 2年 10月 秋号 No.28

安佐在宅診療クリニック

〒731-0103

広島市安佐南区緑井6丁目 37-5

TEL 082-831-6306

FAX 082-831-6307

http://asa-zaitaku.jp/



ウィズコロナ生活の中で、テレワークにローテーション勤務、オンライン授業、オンライン診療、キャッシュレス支払いなど、新しいワークスタイルへのシフトが急速に進んでいます。オンラインで遂行できる業務の見直しが図られる中、新内閣になって、デジタル庁の創設に脱印鑑、オンライン診療恒久化など急速にオンライン化政策が推し進められています。確かに便利になっている面も多いですが、その反面色んなリスクが生じることも忘れてはいけません。医療者が一番心配しているのはオンライン診療恒久化の動きです。コロナ禍の中でのオンライン診療は、コロナ感染症軽症者やコロナ感染症疑い患者、コロナ感染を恐れて受診に不安がある方など、病院への受診アクセスが制限される中での診療にはある程度必要性を感じますが、そうでなくなったあとも初診者からオンライン診療が可能という医療は果たして大丈夫なのか？と不安を覚えます。直接会って直接触れて診察しないとわからないことも多く、画像のみでの状態の見極めは難しく、誤診につながる可能性も高まります。また医師なりすましによる患者の健康被害の発生、患者なりすましによる薬剤不正入手、健康保険不正使用などのリスクも懸念されます。日本医師会長がこれらの観点から初診からのオンライン診療の恒久化は慎重に対応するように求めています。政府はデジタル時代に合致した制度として推し進めようとしています。中にはオンライン診療により通院や内服を維持できる方もおられるので、症例を選んで、再診患者に限定して進めていくべきではないかと思えます。便利と危険は表裏一体であることを忘れずに導入してほしいですね。

呼吸器豆知識

広島でも毎日ちらほらと新型コロナウイルス感染者が出ていますが、この勢いは変わらないままインフルエンザウィルス感染症の季節に入り、今冬のツインデミックが懸念されています。この冬私たちはどのように備えればいいのでしょうか？まずは日常の体調管理とインフルエンザワクチンを射つことでしょうか。この状況を鑑みて、今年は高齢者と一部対象の方は10/1からのワクチン接種が許可され、接種された方もおられると思います。ただ今年は皆さんがうがい、手洗い、マスク着用、ソーシャルディスタンスなど感染症対策をしっかりと行っているおかげか、例年の1/200程度の低レベルでしか、現状インフルエンザウィルス感染症は発生していません。インフルエンザは今のまま気を付けていれば大きな流行にはならないのかもしれませんが、では同じように感染症対策をしてもなぜ新型コロナウイルス感染者は一定の割合で出続け多彩な症状を呈し重症化しやすいのでしょうか？まずは新型コロナウイルス感染者には無症状の人が多くいて、知らない間に感染していることも大きいでしょう。ただそれ以上に新型コロナウイルスは侵入部位が多いことも関係しているのではないかと思います。インフルエンザウィルスの侵入経路は上気道ですが、新型コロナウイルスは多臓器に分布しているACE2という受容体にくっついて侵入します。ACE2受容体は舌や鼻粘膜、咽頭にも多く分布しているため、味覚障害や嗅覚異常が出るのです。肺にもあるため直接肺にくっついて最初から肺炎が起きてきます。これはインフルエンザウィルス感染症で炎症物質が肺を攻撃して肺炎を起こすメカニズム（2020年春号参照）とは違います。脳神経や腸粘膜、脾臓、血管などにもACE2は存在するため、運動障害、腸炎、脾炎、脳梗塞などの症状も起きるのです。こうやって色々な部位から侵入して直接各臓器を攻撃しないように、最初の侵入経路となる気道と口からの侵入を防がないといけないわけですが、眼の粘膜にもこのACE2は存在するため、フェイスガードも必要となります。少しずつ病態解明も進んでおり、今まで通りの予防対策を続けながら、治療薬ができるのを待ちましょう。最後にACE2に関して最近面白い報告がありました。新型コロナウイルス感染症の重症者には優位に肺気腫や糖尿病の合併が多いですが、気管支喘息患者は新型コロナウイルスに感染しにくい可能性を示唆するものです。喘息に関連する炎症物質がACE2の発現を低下させるからではないかと言われています。



インフルエンザの定期予防接種のお知らせ

広島市では、高齢者の方を対象にインフルエンザの定期予防接種の助成制度があります。例年定期予防接種の期間は10月15日からですが、今年は10月1日より開始となっています。助成対象以外の年齢の方は、65歳以上の方が接種できるよう10月26日までお待ちいただくようお願いいたします。

1. 接種対象者

- (1) 65歳以上の方（接種時に65歳になっていなければ対象となりません）
- (2) 60～65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器の機能の障害又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害を有し、その障害が身体障害者手帳1級相当である方

2. 接種できる期間

令和2年10月1日（木）から 令和3年1月31日（日）まで

3. 接種料金 1,600円

4. 接種回数 1シーズンに1回。2回目を接種する場合は、助成制度の対象外となります。

5. 自己負担金免除となる方

- (1) 生活保護世帯に属する方
- (2) 市民税の所得割非課税世帯に属する方

※後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証や介護保険負担限度額認定証などの確認書類が必要となります。

検査結果について

安佐在宅診療クリニックでは、検査を中区千田町にある広島市医師会臨床検査センターに委託しています。検査センターの方が、午前、午後の定期便で集配に周られており、定期便以外でも至急の結果が必要な検査がある時には都度依頼の連絡をして検体を取りに来ていただいています。検査結果は、至急の場合は夕方にFAXで検査センターより送られてきます。



検査結果により予定の処方内容に変更があるかもしれないので、薬局さんにも検査結果を待っていただいています。検査結果のご報告が必要な場合は、院長より患者様へお電話でお伝えさせていただいています。なるべく早くお伝えできるようにしていますが、検査内容などにより結果が出るのに時間がかかることもあり、ご連絡が遅くなることもありますのでご了承くださいませよう願いたします。

朝晩が涼しくなってきましたが、日中はまだ暑く感じる日もあります。体調を崩さないようお気を付けてください。現在患者様の受け入れに余裕があります。外来通院が難しくなった、自宅でゆっくり療養したいなど、在宅療養をお考えの方がいらっしゃいましたら、お気軽にご相談ください。(窓口:杉原)